

にほんいさん
「日本遺産」というのはね。

ちいき れきし てきみりょく とくしょく つう 地域 歴史 魅力 や 特色 を 通じて、日本の文化や、伝統を語るストーリーを、
にほんいさん ジャパン ヘリテージ 「日本遺産 (Japan Heritage)」として、文化庁が認定するものだよ。



おのみちすいどう つむ ちゆうせい はこにわてきとし
尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市
へいせい ねん
平成27年(2015)



にほんさいだい かいぞく ほんきょち げいよしよどう
“日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島
むらかみかいぞく
一よみがえる村上海賊
“Murakami KAIZOKU”の記憶—
へいせい ねん
平成29年(2017)



あらなみ こ おとこ ゆめ つむ いくうかん
荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
きたまえぶねき こうち せんしゆしゅうらく
～北前船寄港地・船主集落～
へいせい ねん
平成30年(2018)

おのみち にんざい にほんいさん
尾道が認定された日本遺産は、
せんごくまいた
8つになって、全国最多となったよ。
おのみち せんごく なか
それだけ尾道には、全国の中でも
たいせつ
大切なものが、たくさんあるということだね。



めりえ おのみちめいしよ
尾道名所 彩々 図鑑
さいさい

知ってなるほど私の町のたからもの vol.2

おのみちこう かいこう わん きたまえぶね
尾道港 開港850年と北前船



発行：尾道ユネスコ協会 / 発行人：稲田全示
〒722-0034 広島県尾道市十四日元町3-14 TEL084-930-4227
協力：尾道市史編さん委員会事務局・尾道市立美術館・おのみち歴史博物館・浄土寺 (50音順敬称略)
監修：村上宏治 / 写真：村上宏治・麻生祥代 / 制作：小川多恵子 / 挿絵：成瀬智美
2022年3月 第1版発行
Copyright2022 Onomichi UNESCO Association All Right Reserved.

めり絵ミッションに入る前に

江戸時代にね、「北前船」が、尾道の港に来るようになったんだ。それは、尾道の歴史の中で、大きな出来事だったよ。北前船について知りながら、めり絵のミッションクリアを目指そう！

尾道港 開港850年と“北前船”

P.2~P.3

へいあんじ だい
平安時代

尾道の港のはじまり

港が開かれて、大田庄の倉敷地として、お米や塩が、船を運び出されていたよ。

P.4~P.5

かまくら・むろまち じ だい
鎌倉・室町時代

港の繁栄と、町の発展

港が栄えたことで、尾道の商人たちは、町にたくさんのお寺を寄進したよ。

P.6~P.19

江戸時代 港整備と、北前船の寄航

たくさんのお船が港を出入りするから、港をもっと広くすることになってね。北前船が来るようになったことで、尾道の港は、船と人と、積み荷で、さらにあふれていたよ。町は、経済的にも、文化的にも発展した時代だよ。

P.20~P.21

めいじ たいしゅう しょうわ じ だい
明治・大正・昭和時代

近代化する尾道

西洋の文化がたくさん入ってきてね。乗り物も、現代のものになるものが出てきたよ。

P.22~P.23

へいせい れい わ じ だい
平成・令和時代

日本遺産“北前船”に認定

尾道は、3つもの日本遺産を認定されたよ。「日本遺産」っていうのはね。

「尾道の港のはじまり」

古代

平安時代1169年
 (今から853年前)
 11月23日認定

“荘園の倉敷地”として公認になった港

850年以上もの昔にね、京の都の後白河上皇という人が、大田庄でできた
 お米を、年貢米として船で運ぶために、尾道港を「公認の港」にするようにと
 決めたまよ。そして、尾道の港が開港してね。尾道の町は、港町として始まったよ。
 尾道は、850年もの歴史がある港町だね！

瀬戸内の重要拠点の尾道港

尾道の港は、物流の中継地として、とても
 重要な港だね。年貢米も、たくさん運ば
 れてきたんだろね。

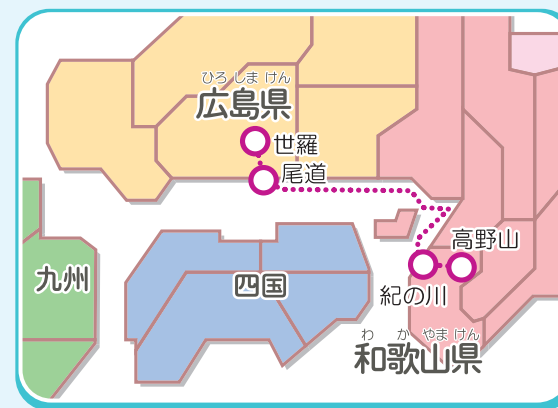


尾道港を開港して、
 船で、年貢米を
 運べるようにしましょう

世羅は、今でも
 お米のおいしい
 有名な産地だよ



大田庄があった、現在の世羅台地全景



地図でみてみよう 年貢米を運んだ船のルート

船に積み込まれてからは、
 和歌山県の高野山まで、運ば
 れていたよ。

港と倉敷地として機能していた、現在の尾道旧市街地の様子



し わたし まち おの みち こう かい こう ねん きた まえ ぶね
 知ってるほど私の町のたからもの 尾道港 開港850年と“北前船”

みなと はん えい まち はつ てん
 「港の繁栄と、町の発展」

おの みち しょうじん た てら
 尾道商人が活躍!! “第1期黄金期”

ちゅう せい かまくら じ たい むらまち じ たい
 中世 鎌倉時代～室町時代
 ねん ねん
 1185年～1573年

せら ねん く まい はこ みなと べつ ぶね てい
 世羅からの年貢米を運ぶ港になってから、別のたくさん船も、出入りするようになっ
 ちゃってね。港はいっせう、にぎやかにっていったよ。やがて、海運業者や商人たちが、
 もっと尾道が繁栄することを願って、たくさんのお寺を建てたりしたよ。

おの みち しょうじん た てら
 尾道の商人が建てたお寺

おの みち ころ た てら
 尾道には、この頃に建てられたお寺が、たくさんあるよ。
 んな昔に建てられたものが、現代の今も、そのままの
 すがた のこ
 姿を残していることって、すごいよね!

じょうどじ おの みち しょうじん
 浄土寺は、尾道の商人の
 どうれん どうしょうふ さい
 道蓮・道性夫妻が
 さいけん
 再建したよ。

くにじゅうようぶんかざい
 国重要文化財
 きにくしんじゅうのとう
 西國寺三重塔
 (むらまちちゅうき
 室町中期)



こくほう
 国宝
 じょうどしたほうとう かまくらまつき
 浄土寺多宝塔(鎌倉末期)

くにじゅうようぶんかざい
 国重要文化財
 じょうしゅうじほんどう むらまちちゅうき
 常称寺本堂(室町中期)

だいひょう てき てら
 代表的なお寺

みなと かいこう ねん
 港が開港して100年ほどで、
 てら た
 たくさんのお寺が建てられたんだね。

じょうどじ さいこくじ ゆうめい じこうじ こうみょうじ ほうどじ ぜんしょうじ かいとくじ じょうしゅうじ
 浄土寺や西國寺が有名だけど、持光寺や光明寺・宝土寺・善勝寺、海徳寺・常称寺・
 さいごうじ てんねいじ ぶくせんじ むかし
 西郷寺・天寧寺・福善寺も、こんなにも昔からあったんだね。



おの みち かいしゅう ぶ し だん むら かみ かい ぞく
 尾道コラム 海上の武士団「村上海賊」

にほん いざん にんてい ねん
 日本遺産に認定(2017年)!!

むら かみ かい ぞく うみ
 「村上海賊」というのはね、海をゆく
 ぶね あんぜん まち うみ せきしょ
 船の安全を守ったり、海の関所を
 つく かいしゅう こうつう
 作って、海上での交通をスムーズに
 ぶ し だん こうこう ぶね
 していた武士団だよ。航行する船は、
 むら かみ かい ぞく あんない
 村上海賊に案内してもらっていたの
 かもしれないね。



いんのしまむらかみ 因島村上
 のしまむらかみ 能島村上
 くるしまむらかみ 来島村上

うみ ね み
 海には、目に見えない
 きけん
 危険がいっぱい!
 むら かみ かい ぞく せ とう ち じゅう ほう
 村上海賊は、瀬戸内の重要な
 ぶ し だん
 武士団だったんだね。

みなと せい び きた まえ ぶね き こう
「港整備と北前船の寄航」

きん せい えど じ だい
近世 江戸時代
 1603年～1869年

みなと せい び だい き おう こん き
 港の整備から“第2期黄金期”へ。

た く さ ん の ぶね が、 港 を 行 き 交 う よ う に な っ た こ と で、 港 を も っ と 広 く す る こ と に な っ た よ。
 「 平 山 角 左 衛 門 」 と い う お 奉 行 様 が、 住 吉 浜 を 整 備 し て ね。 北 前 船 が 尾 道 の 港 に、
 立 ち 寄 る よ う に な る と、 積 み 荷 と 人 で、 か っ て な い ほ ど、 に ぎ わ っ た よ。



みなとを
 つくるぞー!!



ひらやまかくざえもん
 平山角左衛門
 (写真提供：尾道市文化振興課)
 おのみちしめいよ しみんたいいちごう
 尾道市名誉市民第一号



げんざい すみよしじんじや すみよしはま ようす
 ▲現在の住吉神社と住吉浜の様子。

すみよしはなび
 ◀「おのみち住吉花火まつり」
 おのみち 浜と きそ つく
 尾道の港の基礎を作った
 ひらやまかくざ えもん だた
 平山角左衛門を称えたおまつりだよ。

すみよしはなび
 「おのみち住吉花火まつり」は、
 おのみち なつ ふうぶつし
 尾道の、夏の風物詩
 だよな!



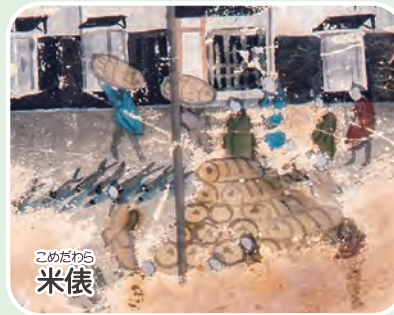
えど じ だい えが おのみち ようす いち じょうとせう
 ▲江戸時代に描かれた尾道の様子「フリ市」(浄土寺蔵)



すみよしじんじや
 住吉神社



やくし どうどお くら
 薬師堂通りの蔵



こめだわら
 米俵



いち ようす
 フリ市の様子

え した が わ み
 絵の下側を見ると、
 ぶね と
 船がたくさん泊まっ
 ているね。

ひたりのかや すみよしじんじや
 左側には、住吉神社
 があるね。

みち いろ
 道の色んなところに、
 さかな
 魚(フリ)が、たくさん
 なら こめだわら
 並んでいて、米俵も、
 つ あ
 積み上げられている
 ようす わ
 様子が分かるね。



むかし おのみち く
昔の尾道の暮らし

まち ようす よ えが え いま たいせつ くらしき ち
 町の様子が良く描かれている絵が、今も大切にされているよ。“倉敷地”と
 いわれるほどに、しろ くら(くら) た なら ならん いね。 向かって右側の、蔵が
 ななめに並んでいるところは、今の「薬師堂通り」の通りといわれているよ。

きた まえ ぶね
北前船というのはね

きたまえぶね ほっかいどう にほんかいがわ しものせき せとないかい とお おおさか あいだ
「北前船」とは、北海道から日本海側・下関・瀬戸内海を通して、大阪までの間にある、
いろ みなと たよ ながら、その土地の名産などを、売り買いをしたりしながら、航行を
する 船を、「北前船」と呼ぶよ。

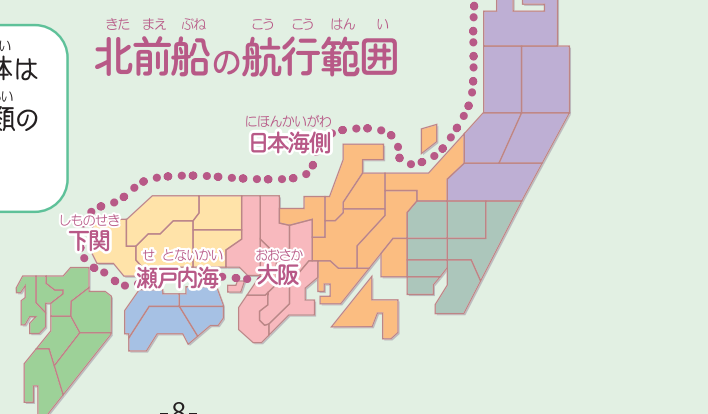


きたまえぶねえ ま しょうどじぞう
北前船絵馬 (浄土寺蔵)

えま しょうどじ ほうのう おお ふなぬし
この絵馬は、浄土寺に奉納されていて、とても大きいよ。船主の、
こうこう あんぜん なが きも おお えま おお
航行の安全を願う気持ちが大きくて、絵馬も大きくなったのかな。

豆知識!
きたまえぶね ふね じたい
「北前船」の、船自体は
べざいせん しゆるい
“弁財船”という種類の
ぶね 船だよ。

しんかんせん
「新幹線」が
でんしゃ
電車の名前
ではないのよ
おな 同いだね。



きたまえぶね はこ
北前船が運んだもの



ぜん こく おの みち
全国から尾道へ



おの みち ぜん こく
尾道から全国へ

この頃に使われていた
ものなどが、今でも見られる
ところがあるよ。



こまいぬ (いぬ さかじん じや)
狛犬(八坂神社)
おの みち いしくしよくにん ぜんこく ゆうめい
尾道の石工職人は全国でも有名だよ。



す びん かべ
酢瓶の壁
つか つか つく かべ
かつて使われていた酢瓶を使って作られた壁だよ。



つく かじや
イカリやクワを作る鍛冶屋がたくさんあったよ。



ちからいし (いし おもし しんじや)
力石(住吉神社)
も あ こめ のおも いし きそ
持ち上げられるおめの重さを石で競っていたよ。



かん ぎ すみよしじんじや よこ
雁木(住吉神社の横)
しお み ひ たか あ らね きし つ
潮の満ち引きの高さに合わせて、船を岸に着け
られるしくみで作られたよ。

かい りくろ
海路と陸路

ふね つか じだい うま はこ ふね はこ ほう
船が、たくさん使われていた時代はね、馬で運ぶよりも、船で運んだ方が、はるかに
はや くて、たくさん の荷物 を運べたよ。今は、車 で数時間 で行けるけど、昔は馬に
の せて ある はこ を たいへん
乗せて歩いて運んでいたから、きっと大変だったろうね。

りくろ かた みち にち
陸路 片道8~13日
きより じそく
距離260km 時速4km



おの みち おお さか
尾道 → 大阪

かい りくろ かた みち にち はん
海路 片道1日半
きより じそく
距離170km 時速10km



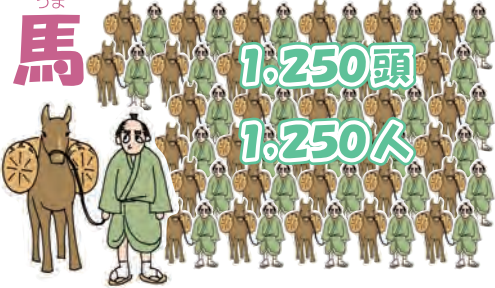
豆知識!

でん しゃ
電車の

のほ くだ
**「上り」と「下り」は
北前船からきた
言葉だった!**

でん しゃ こくどう こうそくどうろ のほ くだ
電車や国道・高速道路などで、【上り/下り】という
ことば つか ことば きたまえぶね
言葉を使うよね。この言葉はね、北前船からきているんだよ。
きた まえ ぶね じ だい おお さか きしゆん かんが
北前船の時代には、大阪を基準にして考えていたから、
おお さか ほっかいどう む くだ に よ
大阪から、北海道へ向かうことを「下り荷」と呼んでいたよ。

こく おお さか はこ
1,000石を大阪まで運ぶと...
(1,000石 = 150,000kg)



うま
馬 1,250頭 1,250人
いっとう ひとつ
一頭あたり、120kgの荷物が運べるよ。
150,000kg ÷ 120kg = **1,250頭**
にっすう じかん
日数 260km ÷ 4km = 65時間
にち じかんある
1日 8時間歩くことすると、
じかん じかん じかん
65時間 ÷ 8時間 = **約 8日**



ふね
船
ふねの じん
船乗りさん: **10人**
きより じそく じかん
距離170km ÷ 時速10km = 17時間
しお ま かい
潮待ち・風待ちで2倍かかるから、
やく じちはん じかん
約 1日半 (34~36時間) くらいだね。

北前船の大きさ

船の大きさは、帆の反数で、決められています。帆の反数によって、船に積む量が決まっていたから、帆の反数を数えると、船の大きさが分かるね。



反数による石数換算表

反数	石数	トン数
17	400	60t
20	500	75t
21	600	90t
22	750	113t
23	800	120t
24	900	135t
25	1000	150t
26	1200	180t
27	1300	195t
28	1350	203t
29	1500	225t
30	1600	240t

※石数 × 0.15 = トン数

絵で読み解こう!

浄土寺絵馬に描かれている反数は、24本だね。右の表を見ると、石数は900石だから、135tも運べる船ということだね。

重さの目安

1石 = 150kg = 2.5俵
 1,000石 = 150,000kg = 2,500俵

お米の単位



豆知識!

「千石船」の「石」ってなんだろう?

収穫したお米の量を、「石」の単位で表すよ。昔は、お金はもちろん大切だけど、お米の方がとっても重要だね。船も同じで、お米を運べる量が、基準になっていたから、「千石運べる船」を「千石船」というよ。

北前船の一年

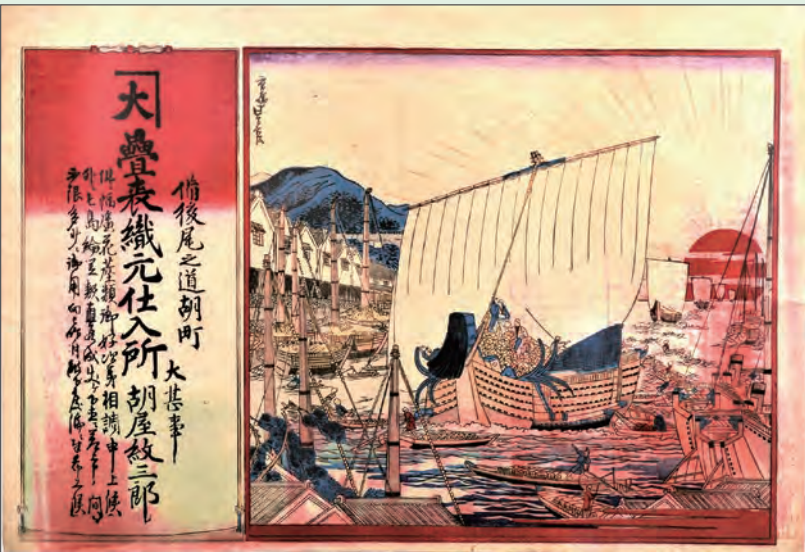
この船はね、実際に使われていた北前船だね。尾道沖で、修理の順番待ちをしているところだよ。冬の日本海は、波がとっても荒れて、航行が難しくね。そして、ずっと乗り続けていると、船も傷むよね。だから、冬の間は修理に出して、暖かい季節になると、また船に乗って、いろんな港に立ち寄っていたんだ。



写真：横浜開港資料館所蔵

ひ ふだ
引き札

いま しょうひん みせ せんてん こうこく おのみち きた まえ ぶね
 今では、商品や、お店の宣伝をしている、広告チラシのごとだよ。尾道は、北前船が
 来るようになって、まち さか しょうにん あつ
 来るようになって、町が栄えたことで、商人たちが、たくさん集まるようになってね。
 じ ぶん しょうひん みせ し つく ひ ふだ
 自分たちの商品や、お店を知ってもらうために、作っていたチラシを、「引き札」というよ。



きたまえぶね まわ
 北前船の周りに、
 こめむら の
 米俵のたくさん乗った
 こぶね
 小船がいるね。
 これからぶね
 つ 積んでいくのかな。

し 下船造り新

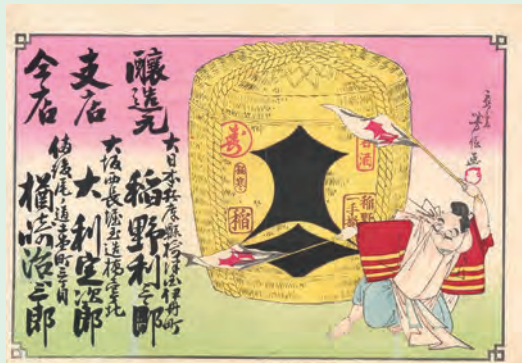


あら ぶね つく
 新しい船を造った
 ときのお知らせだね。
 じゅうしや おのみち
 住所には、「尾道」と
 が
 書いてあるね。
 あた
 どの辺りだろう。

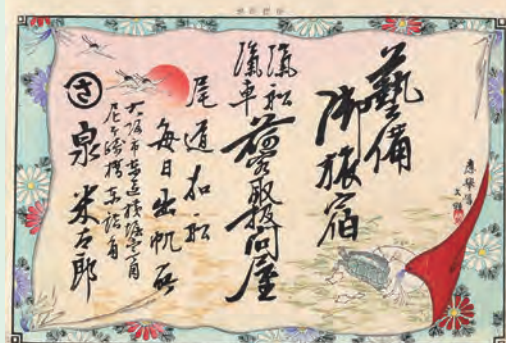


ひ ふだ
引き札コレクション

すうねんまえ おのみち ひ ふだ
数年前に、尾道で、たぐさんの引き札が、
はっけん むかし おのみち
発見されたよ。昔の尾道では、いろんな
みせ ひ ふだ つく
お店が、引き札を作っていたんだね。



きた まえぶね らいこう
北前船が来航したことで、
おのみち
尾道はとってもにぎやか
そうそう で き
だったことが、想像出来るね。



すみよしじんじゃ

住吉神社

ひらやまかざえもん すみよしはま ひろ こうじ もと じょうど じ すみよしじんじゃ
平山角左衛門が、住吉浜を広げる工事をしたとき、元は浄土寺にあった住吉神社を、
いま ばしよ うつ じんじゃ うみ あんぜん しょうはいはんじょう つかさど かみさま
今の場所に移したよ。この神社はね、海の安全や、商売繁盛を司る神様が、
おまつりされているよ。尾道の「港の守護神」だね。



▼ ずっと昔は、
ふね ちよくせつ まい
船から直接お参りできるように、
い ぐち うみ む
入り口が海へ向かっていたよ。
みなとまち
港町ならではだね。

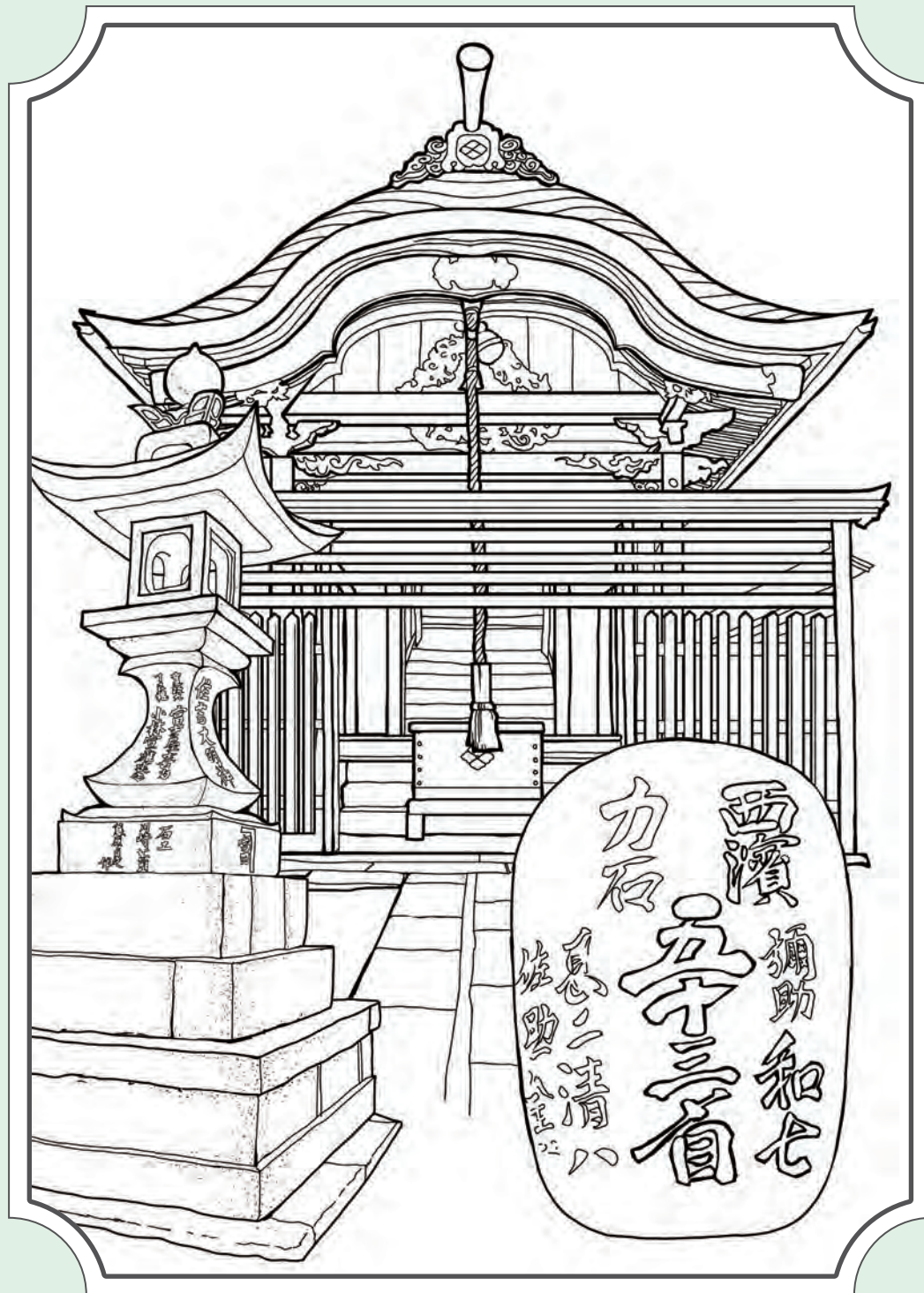


おの みち めいぶつ はつ 尾道の名物「初セリ」

がつ か すみよしじんじゃ まいとし
1月5日に、住吉神社で毎年、
しん ねん はついち ひら
「新年初市」が開かれるよ。
え どしだい ねんつづ
江戸時代から300年続く、
おの みち でんとうぎょうじ
尾道の伝統行事だよ。



ひんちく
セリにかけられる品目は、
こんぶ
チリメン・いりご・するめ・昆布など、
しな
40品もあるよ!



きん だい か おの みち
「近代化する尾道」

ぶつりょう じゅうようきょう だい さ おうごんき
 物流の重要拠点として“第3期黄金期”

きん だい めいじ たいしょう しょうわじだい
近代 明治・大正・昭和時代
 1869年～1989年

めいじじだい せいよう たてもの ふ みなとまち ふうけい か
 明治時代になると、西洋の建物が、だんだんと増えていってね。港町の風景が変わって
 いったよ。エンジンのついた蒸気船が登場したことよ、北前船のような、帆かけ船
 よりも、荷物がたくさん運べるようになって、北前船は、次第に姿を消していったよ。



尾道港から見た大正時代の船 尾道 尾道
 The view of Omihachiguchi Harbour from
 the O. S. K. Pier, Onomichi.

しょうきせん おのまち みなと ようす めいじじだいまきころ たいしょうじだい
 蒸気船がとまっている尾道の港の様子(明治時代末期頃～大正時代)
 おのまち こえ はかき おのまち しょうせんさんばし み おのまちこう
 尾道の本音葉書「(尾道)商船棧橋より見たる尾道港」



だい こくりつぎんこう く ほちょう
 第六十六国立銀行(久保町)
 写真提供：尾道市史編さん委員会事務局

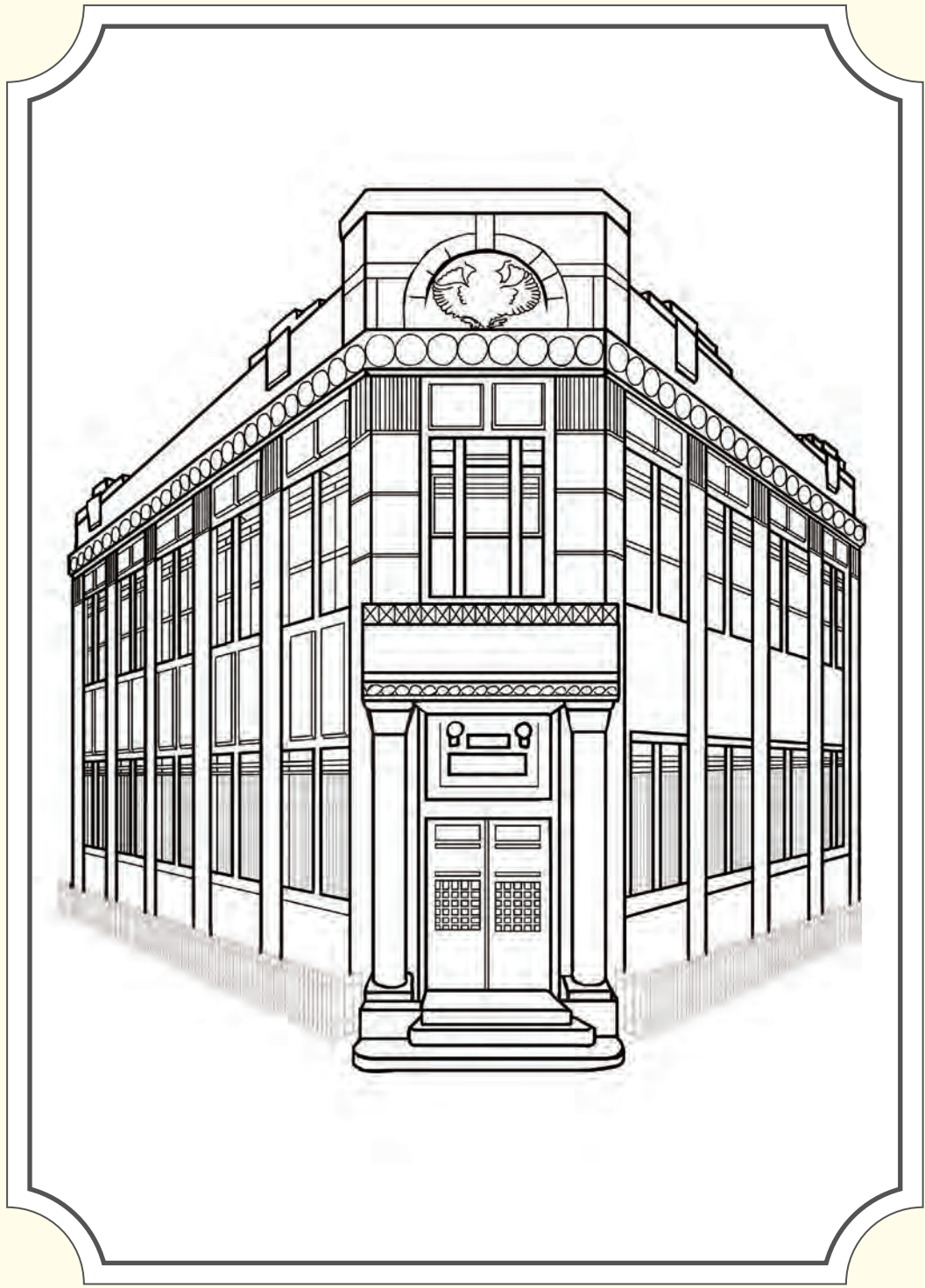


すみともぎんこうおのまちしん こめばちょう
 住友銀行尾道支店(米場町)
 写真提供：尾道市史編さん委員会事務局



行銀道尾社會式株

かふしきがしや おのちぎんこう げん れきはくぶつかん
 株式会社 尾道銀行(現・おのち歴史博物館)
 げんざい ひろしまぎんこう せんしん ぎんこう ひと
 現在の広島銀行の前身となった銀行の一つ
 写真提供：おのち歴史博物館



「日本遺産“北前船”に認定」 知ってなるほど私の町のたからもの

「日本遺産“北前船”に認定」

現代 平成・令和時代

「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」

港が開港して、850年以上ものあいだ、港を中心にしてきた尾道にとって、「北前船」は、重要な歴史ポイントの一つだね。北前船にまつわるものが、今も見ることが出来るよ。

構成文化財



港町尾道の町並み

北前船の寄港地として繁栄した瀬戸内海最大級の港町。北前船の寄港とともに、港の埋め立て等が行われ、拡大した。



浄土寺

北前船等の商人からの信仰を集めた寺院。常夜燈や北前船絵馬、港町の繁栄を表す尾道絵屏風が残っています。

住所：尾道市東久保町20-28



住吉神社(尾道)の奉納物

北前船の商人たちが寄進した玉垣や常夜燈が残されています。現在も昆布などの初セリや住吉祭、尾道みなと祭など、尾道を代表する催しの会場となっています。

住所：尾道市土堂2丁目10-12



尾道市の玉乗り狛犬

北前船の底荷として、尾道石工の造った花こう岩の石造物は各寄港地へ運ばれました。尾道にある狛犬のように、玉の乗った狛犬は、尾道から運ばれ日本海側の寄港地に点在しています。

住所：尾道市久保2丁目15-31



尾道浦絵屏風

北前船が寄港し、繁栄した江戸時代の尾道浦と尾道水道に船が停泊する様子が描かれた絵図。

写真提供：尾道市立美術館「尾道浦絵屏風」一部



写真提供：尾道市立美術館「尾道浦絵屏風」



港町瀬戸田の町並み

瀬戸田港も、沖乗り航路の北前船寄港地として栄えました。廻船業で繁栄した堀内家しおぐらや常夜灯などが残り、港町の風情をみることが出来ます。

住所：尾道市瀬戸田町瀬戸田

普段生活している日常の中に、尾道にとって、とても重要なポイントが隠れているね。昔から、大切にされてきたものを、これからも、大切にしていきたいね。

おの みち きょうかい
尾道ユネスコ協会
 おの みち しゃ しん ちょう
尾道写真帖

むかし おの みち しゃ しん
 昔の尾道の写真だね。
 か
 変わったところも、
 か
 変わらないところも、
 どちらも大切な
 おの みち き おく
 尾道の記憶だよな。



めいじ じ だい きゅうしかいちえんげい びんご お みちこう さつえい お ががすまさ
 明治時代 旧市街地遠景 「備後尾ノ道港」(撮影：小川一真)



めいじ まつ だいしやうじ だい おのみちしやうこうがいきしよきん やうす (おのみち)おのみちしかいどおのり
 明治末～大正時代 尾道商工会議所付近の様子「(尾道)尾道市海岸通」



しやうわ じ だい さんば はし じやうき き かんしや さつえい つちもとがすみ
 昭和時代 山波のあたりを走る蒸気機関車 (撮影：土本壽美)